

タイガースポリマー株式会社

2024年3月期 決算概要説明

2024年6月12日

東証STD
4231

TIG
ERS
POLY
MER

会社概要	03
------	----

2024年3月期	実績	08
----------	----	----

2025年3月期	業績予想	19
----------	------	----

Appendix	23
----------	----

会社概要



社名 タイガースポリマー株式会社

代表取締役社長 澤田 宏治

創業 1938年（寅年）6月1日

設立 1948年12月20日

上場市場 東証 スタンダード（4231）

売上高 478億円（2024年3月期）

従業員数 連結 1,988名（2024年3月末）

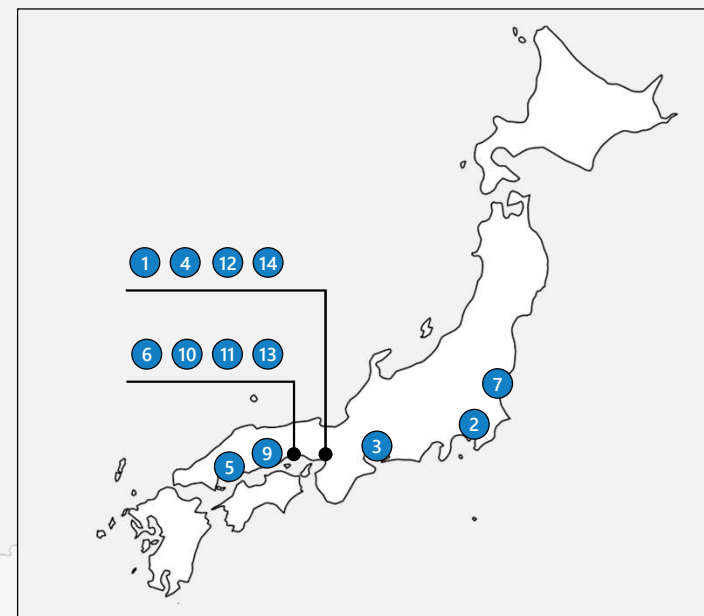
事業内容 合成樹脂、ゴム及びそれらの複合資材をもとに、ホース、ゴムシート、成形品、その他金型などの製造販売

本社 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番1号

事業所 国内：本社、4支店、4営業所、3工場、他
国内子会社：4社
海外：アメリカ・メキシコ・タイ・中国・マレーシア

国内事業拠点・グループ会社

- 1 本社
- 2 東京支店
- 3 名古屋支店
- 4 大阪支店
- 5 広島支店
- 6 開発研究所
- 7 栃木工場
- 8 静岡工場
- 9 岡山工場
- 10 購買部
- 11 タイガース工販株式会社
- 12 高槻化成株式会社
- 13 武庫川化成株式会社
- 14 ラバー・フレックス株式会社



海外事業所

- 15 TIGERPOLY MFG., INC.
- 16 TIGERFLEX CORPORATION
- 17 TIGERPOLY INDUSTRIA DE MEXICO S.A. DE C.V.
- 18 TIGERPOLY (THAILAND) LTD.
- 19 TIGERS POLYMER (MALAYSIA) SDN. BHD.
- 20 杭州泰賀塑化有限公司
- 21 広州泰賀塑料有限公司



主要製品



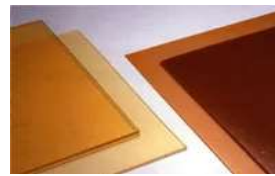
ホース（家電用）

- 掃除機用
- 洗濯機用
- エアコン用



ゴムシート（シート類）

- 自動車・工作機械・その他各種パッキン
- クッション材
- シールドマシン用止水ゴム



成形品（自動車部品）

- EV・PHEV向け部品（冷却回路用樹脂配管など）
- FCV専用部品（H2緊急排気ダクトなど）
- エンジン部品（エアクリーナーなど）



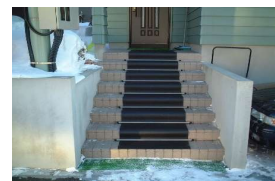
ホース（産業用）

- 一般産業用（地中埋設電線保護管、半導体製造装置向け）
- 土木建築用（シールド工事用圧送ホース、高架橋排水管）
- 住宅用



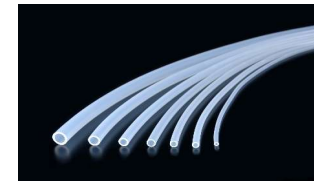
ゴムシート（マット類）

- 家庭用マット（玄関マット）の裏面材
- 融雪マット
- 体育館用マット



押出成形品

- 理化学用チューブ
- 乾燥機用扉パッキン
- 半導体製造装置用パッキン

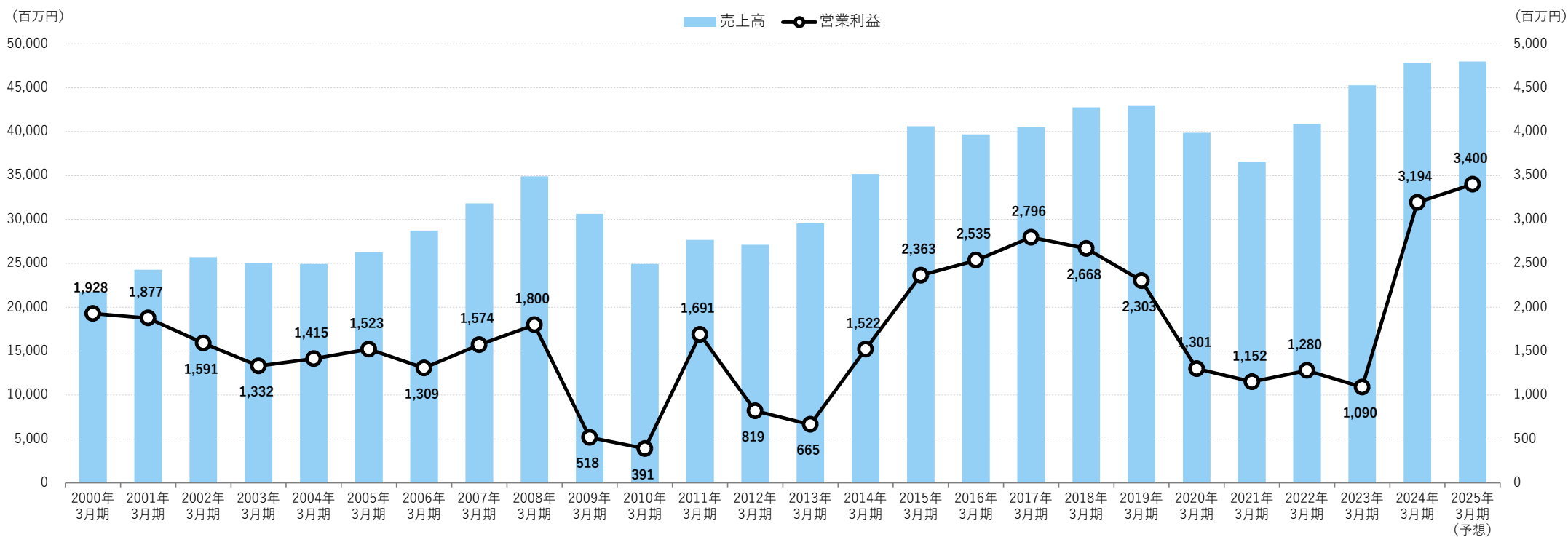


業績推移



- 売上高は、リーマンショック、東日本大震災、コロナ禍の影響を受けるも2025年3月期予想までの10年間で、売上高年平均成長率2.1%
- コロナ禍影響により2020年3月期以降2期連続で減収減益となったが、売上高は2023年3月期以降、営業利益は2024年3月期にコロナ禍前を上回る

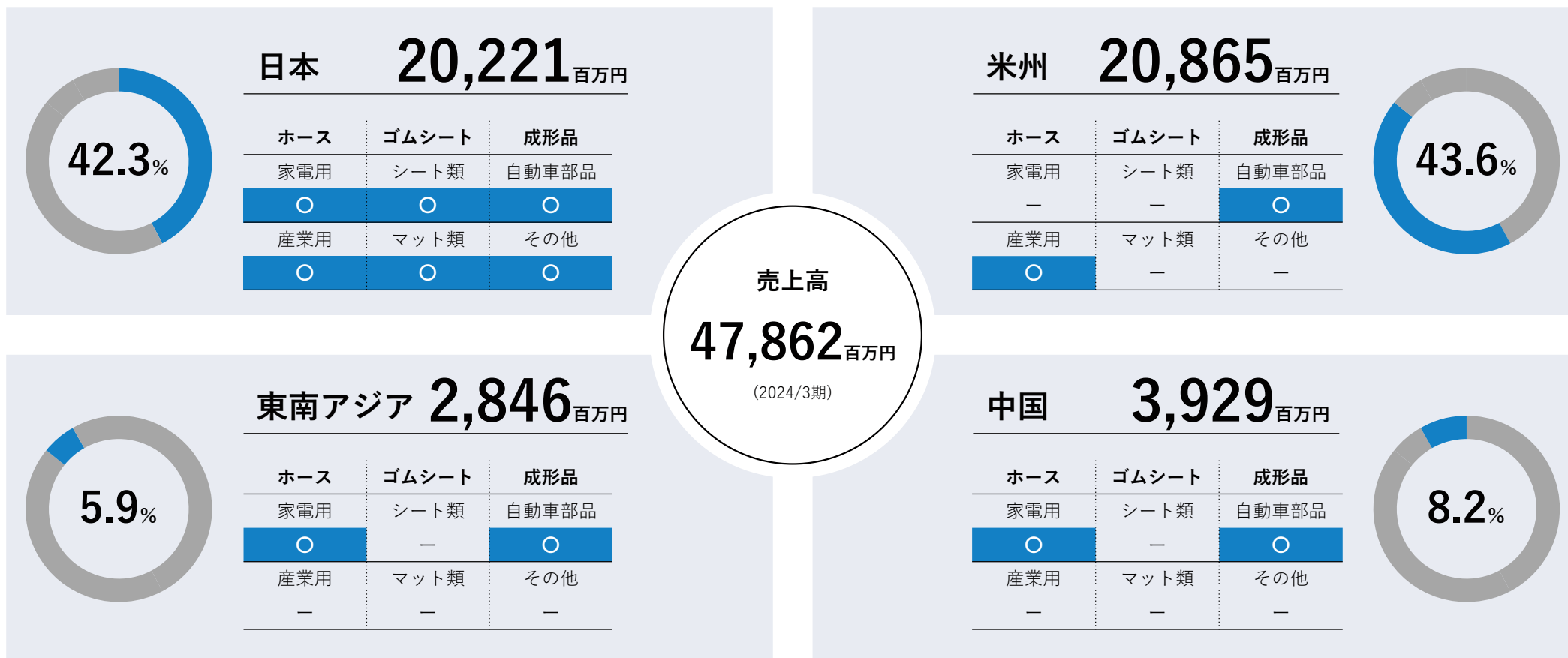
売上高と営業利益



地域別売上高

■ 地域別売上高は日本が42.3%、米州が43.6%となり、日本・米州で8割超の売上

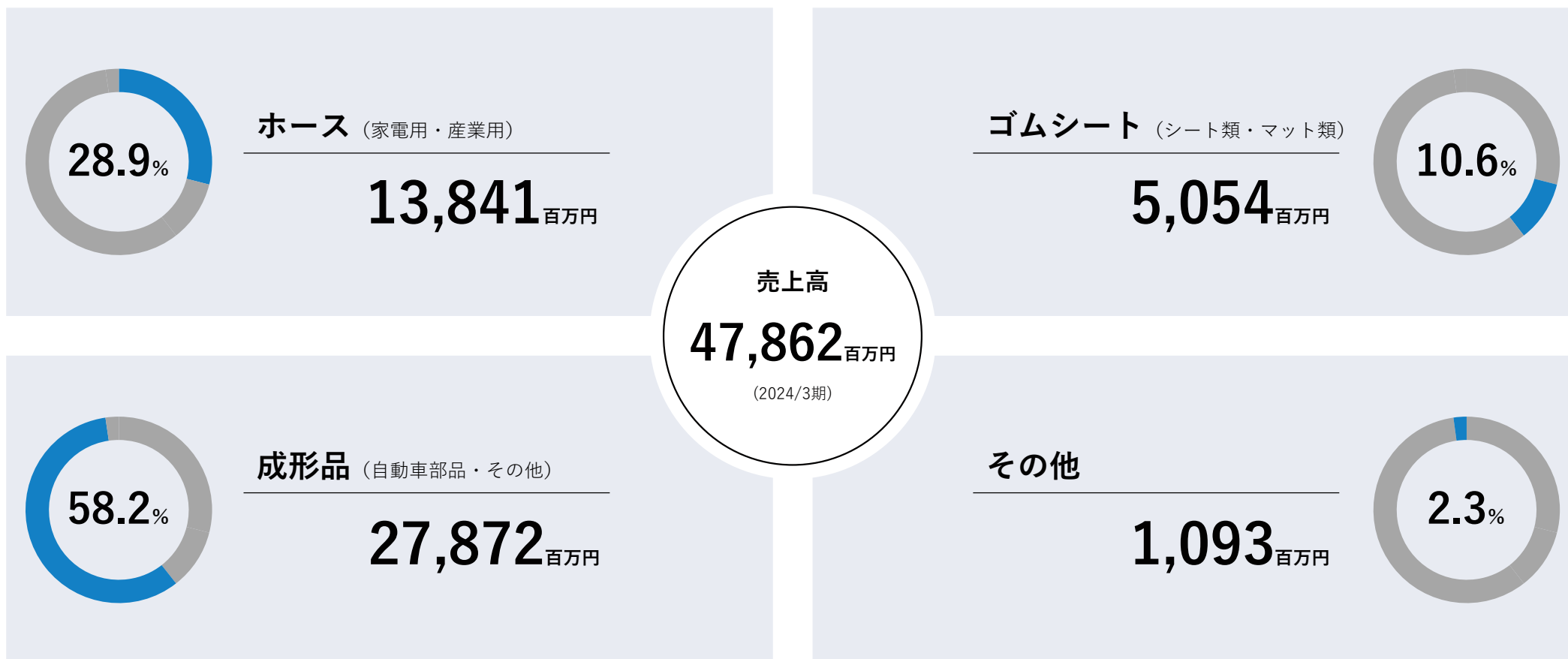
■ 日本国内はホース、ゴムシート、成形品を生産・販売、
海外拠点は成形品（自動車部品）の他、米州は産業用ホース、東南アジア・中国は家電用ホースを生産・販売



製品別売上高



■ 2024年3月期の自動車向け部品の売上高は全体の55%、そのうち、ホンダグループ向けの売上高は75%





2024年3月期 実績

TER
POL
MER

決算概要



■ 売上高は半導体供給不足緩和による自動車部品生産の持ち直し、為替影響などにより前期比増収

■ 売上高増収効果、前期末からの価格転嫁の進展、為替影響を主因に営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前期比増益

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期					
	実績	売上高比	実績	売上高比	予想	売上高比	実績	売上高比	前期比	予想比
売上高	40,878	100%	45,285	100%	48,000	100%	47,862	100%	+5.7%	▲0.3%
営業利益	1,280	3.1%	1,090	2.4%	3,400	7.1%	3,194	6.7%	+192.9%	▲6.1%
経常利益	1,797	4.4%	1,869	4.1%	4,100	8.5%	4,286	9.0%	+129.2%	+4.5%
当期純利益	831	2.0%	816	1.8%	2,900	6.0%	3,019	6.3%	+266.9%	+4.1%
1株当たり当期純利益	41円60銭		41円02銭		145円69銭		151円71銭		+269.8%	+4.1%
1株当たり配当金	12円00銭		12円00銭		45円00銭		47円00銭		+291.7%	+4.4%

地域別 売上高・営業利益



- 米州が大きく増収、特に半導体供給不足緩和による自動車生産台数の回復により成形品（自動車部品）向けが増加
- 営業利益は、日本・米州・東南アジアで増収効果等により増益、中国はE Vシフトの急速な進行による成形品（自動車部品）の販売減少等により営業損失に転じる減益

単位：百万円		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		
		実績	実績	実績	増減額	前期比
日本	売上高	18,866	20,078	20,221	+142	+0.7%
	営業利益	696	391	994	+602	+154.0%
	営業利益率	3.7%	2.0%	4.9%		
米州	売上高	14,147	18,103	20,865	+2,762	+15.3%
	営業利益	▲199	148	2,048	+1,899	+1,275.0%
	営業利益率	▲1.4%	0.8%	9.8%		
東南アジア	売上高	2,238	2,495	2,846	+351	+14.1%
	営業利益	228	227	279	+52	+23.1%
	営業利益率	10.2%	9.1%	9.8%		
中国	売上高	5,626	4,607	3,929	▲678	▲14.7%
	営業利益	555	219	▲257	▲476	—
	営業利益率	9.9%	4.8%	▲6.6%		

製品別売上高



■ 半導体供給不足緩和による自動車部品生産の持ち直し、為替影響により前期比増収

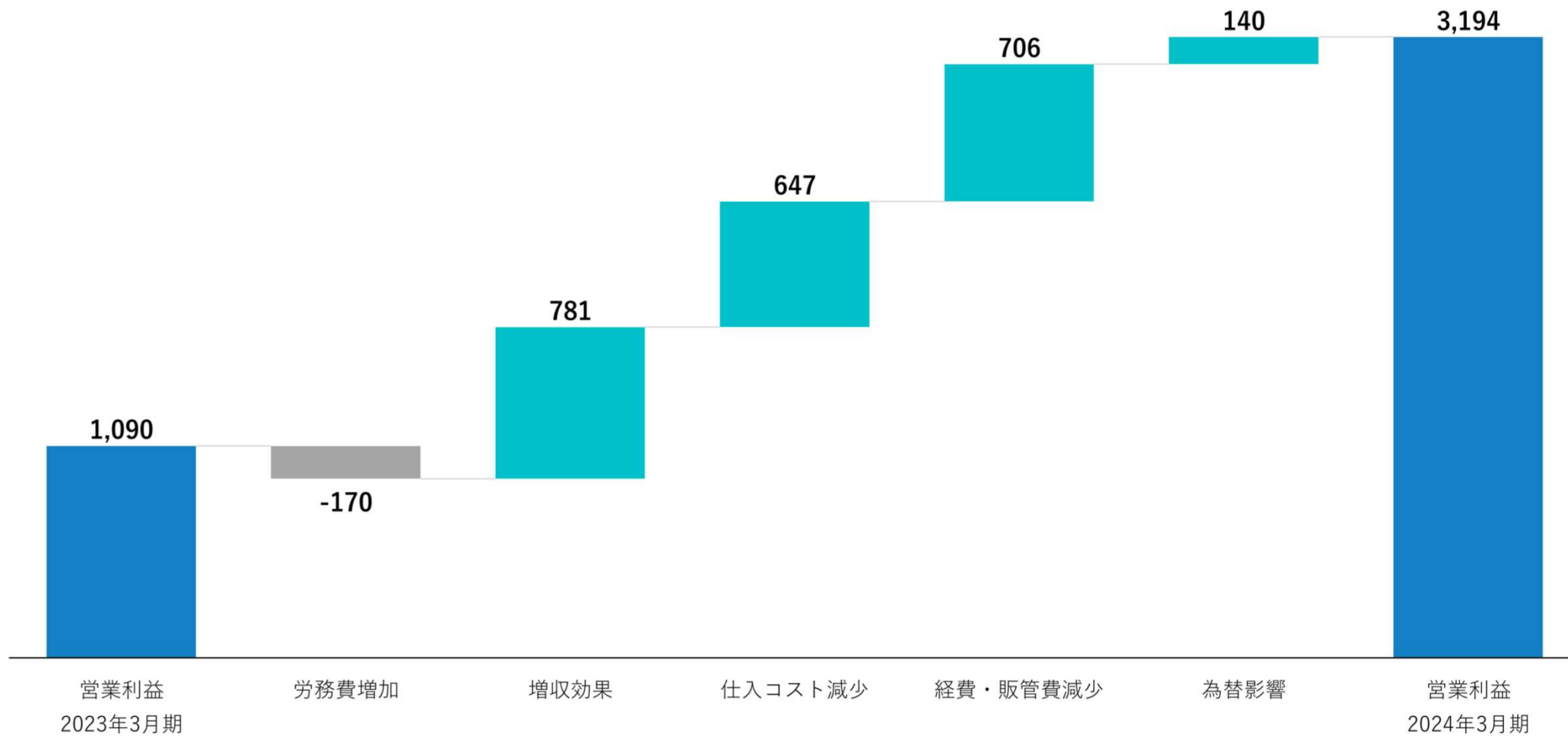
■ ホースは米国で産業用の販売が為替影響により増えたが、日本・東南アジア・中国で家電用および産業用の販売が減少

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	40,878	100.0%	45,285	100.0%	47,862	100.0%	+5.7%
成形品	23,167	56.7%	24,881	54.9%	27,872	58.2%	+12.0%
ホース	11,267	27.6%	13,628	30.1%	13,841	28.9%	+1.6%
ゴムシート	5,051	12.3%	5,466	12.1%	5,054	10.6%	▲7.5%
その他	1,391	3.4%	1,308	2.9%	1,093	2.3%	▲16.4%

營業利益增減要因分析



營業利益增減 (百万円)



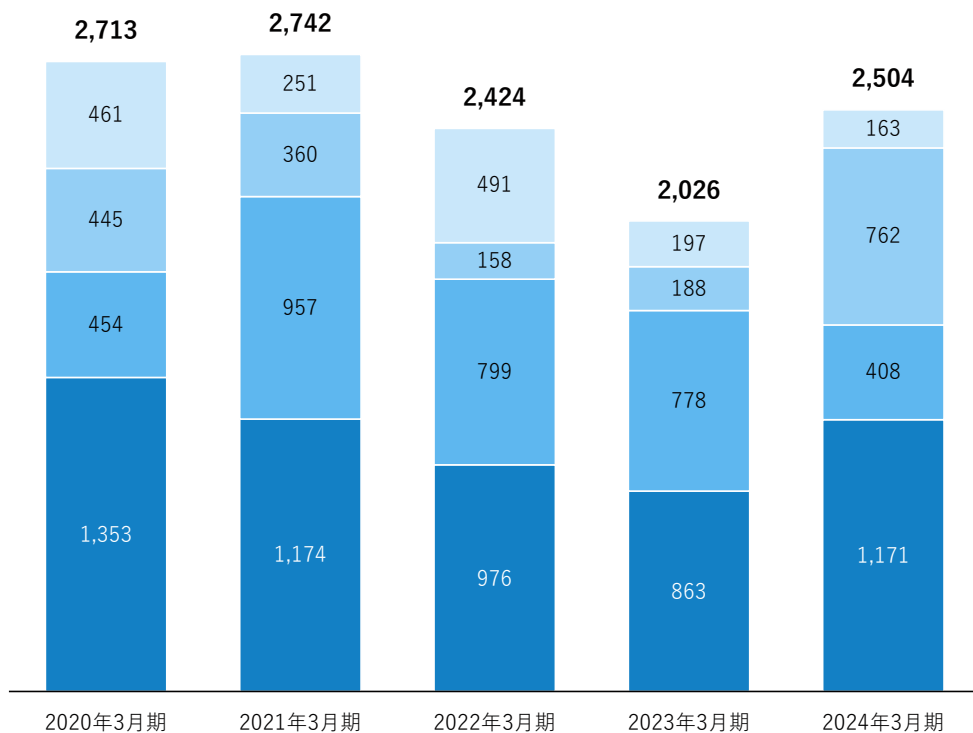
設備投資・減価償却費



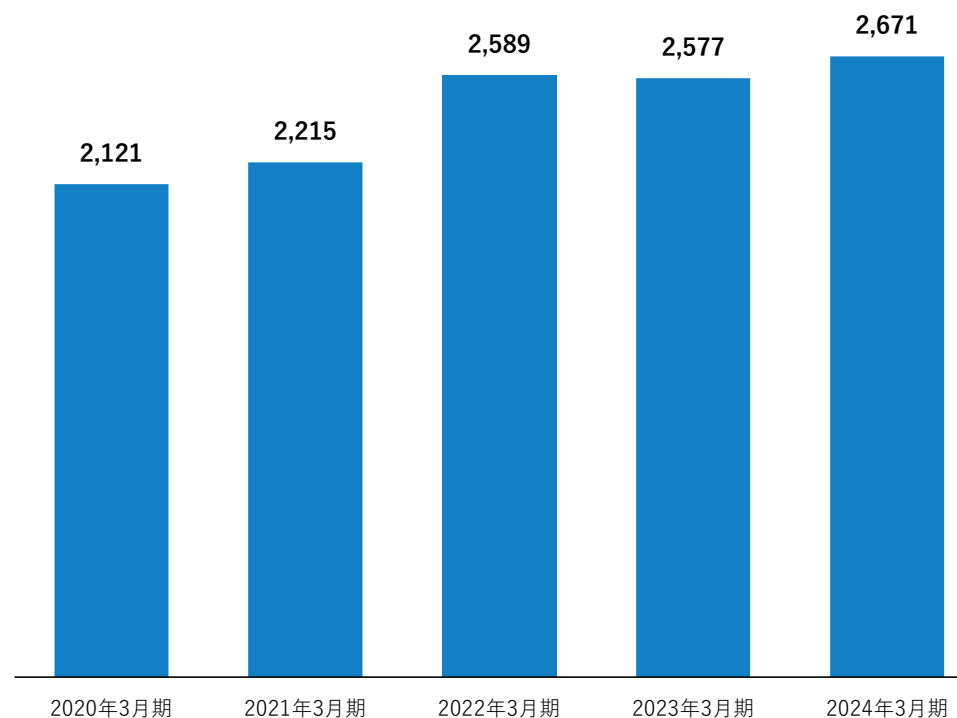
■ 2024年3月期の主な設備投資は、日本および東南アジアの自動車部品製造設備、米州の産業用ホース製造設備、東南アジア（タイ国）の工場土地

設備投資（百万円）

■ 日本 ■ 米州 ■ 東南アジア ■ 中国



減価償却費（百万円）

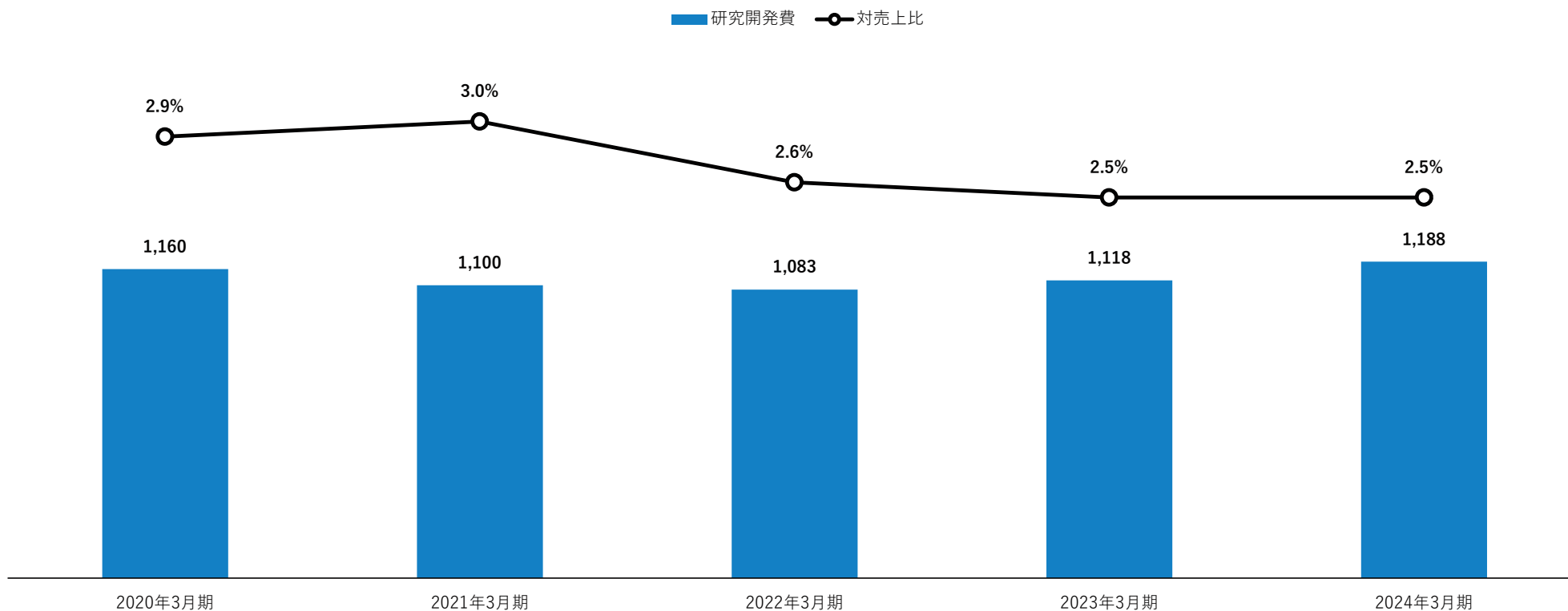


研究開発費



- 技術開発に力を注ぎ、優れた技術により品質、効率、生産スピード等の面で他社との差別化を図る
- 高機能製品開発、機能を重視した設計・開発・提案・保障を主眼に製品化を促進

研究開発費（百万円）

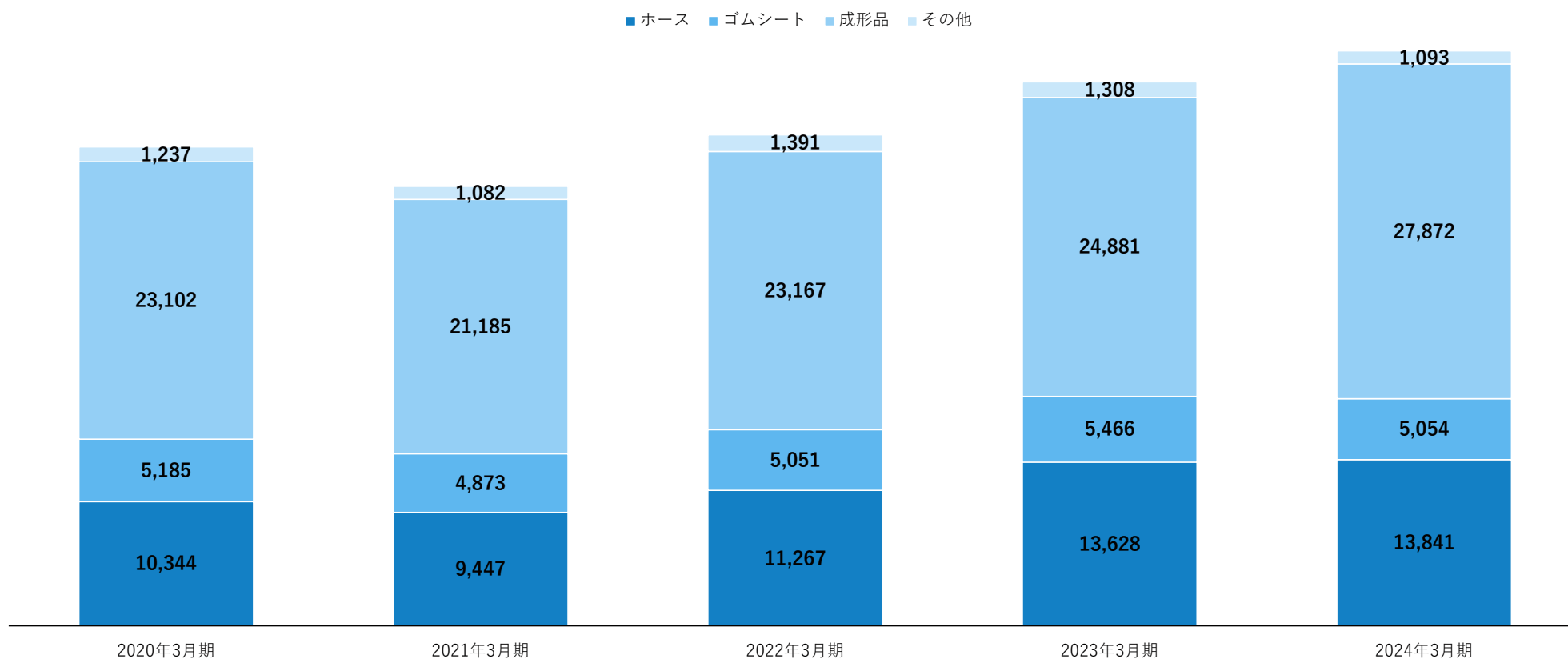


製品別売上高推移



■ 2021年3月期の新型コロナウイルス感染症の影響による販売低迷から回復傾向に推移し、2024年3月期は過去最高値を更新

製品別売上高(百万円)



貸借対照表



	2023年3月末	2024年3月末		
	実績	実績	増減額	主要増減要因
単位：百万円				
流動資産	30,744	34,103	+3,359	現金及び預金 +3,882 有価証券 +900 受取手形及び売掛金 +1,052
固定資産	20,682	23,190	+2,507	有形固定資産 +912 投資有価証券 +1,410
資産合計	51,427	57,293	+5,866	
流動負債	10,206	10,619	+413	支払手形及び買掛金 ▲269 未払金 +191 未払法人税等 +308
固定負債	4,277	4,385	+108	長期借入金 ▲350 繰延税金負債 +447
純資産	36,943	42,288	+5,344	利益剰余金 +2,601 その他有価証券評価差額金 +964 為替換算調整勘定 +1,369
負債純資産合計	51,427	57,293	+5,866	
自己資本比率	67.9%	69.7%		

キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期		
	実績	実績	実績	増減額	主なキャッシュ・インフロー/アウトフロー
■営業活動によるキャッシュ・フロー	2,608	3,147	7,707	+4,559	税引前当期純利益 +4,510 減価償却費 +2,671
■投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,127	▲2,295	▲3,618	▲1,322	有形固定資産取得 ▲2,604 定期預金の預入・払戻 ▲6,138
フリーキャッシュ・フロー	480	852	+4,089	+3,236	
■財務活動によるキャッシュ・フロー	▲718	▲168	▲913	▲744	配当金の支払い ▲416
現金及び現金同等物の増減額	+255	+1,289	+3,609	+2,320	
現金及び現金同等物の期首残高	8,769	9,024	10,320	+1,296	
現金及び現金同等物の期末残高	9,024	10,320	13,930	+3,609	

新規分野への取り組み



■ HEV・PHEV・EV・FCV関連の自動車部品の増加と新規顧客からの受注増により、成形品（自動車部品）の事業拡大に引き続き取り組む

成形品（自動車部品）売上高の新規分野製品・既存製品の構成比

成形品(自動車部品)		2015年3月期	2024年3月期
既存製品	吸気系 (エアクリーナなど)	87%	60%
新規分野	HEV・PHEV・EV・FCV (バッテリー冷却ダクトなど)	13%	40%
合計		100%	100%



2025年3月期 業績予想

業績予想



■ 売上高は、自動車部品・ホース・ゴムシートともに増収

■ 営業利益は人件費等の増加を増収効果でカバーして増益、経常利益は営業外収益（為替差益）が減少して減益

単位：百万円	2024年3月期		2025年3月期予想		
	実績	売上高比	予想	売上高比	前期比
売上高	47,862	100%	50,000	100%	+4.5%
営業利益	3,194	6.7%	3,400	6.8%	+6.4%
経常利益	4,286	9.0%	3,600	7.2%	▲16.0%
当期純利益	3,019	6.3%	2,200	4.4%	▲27.1%
1株当たり当期純利益	151円71銭		110円52銭		▲27.1%
1株当たり配当金	47円00銭		34円00銭		▲27.7%

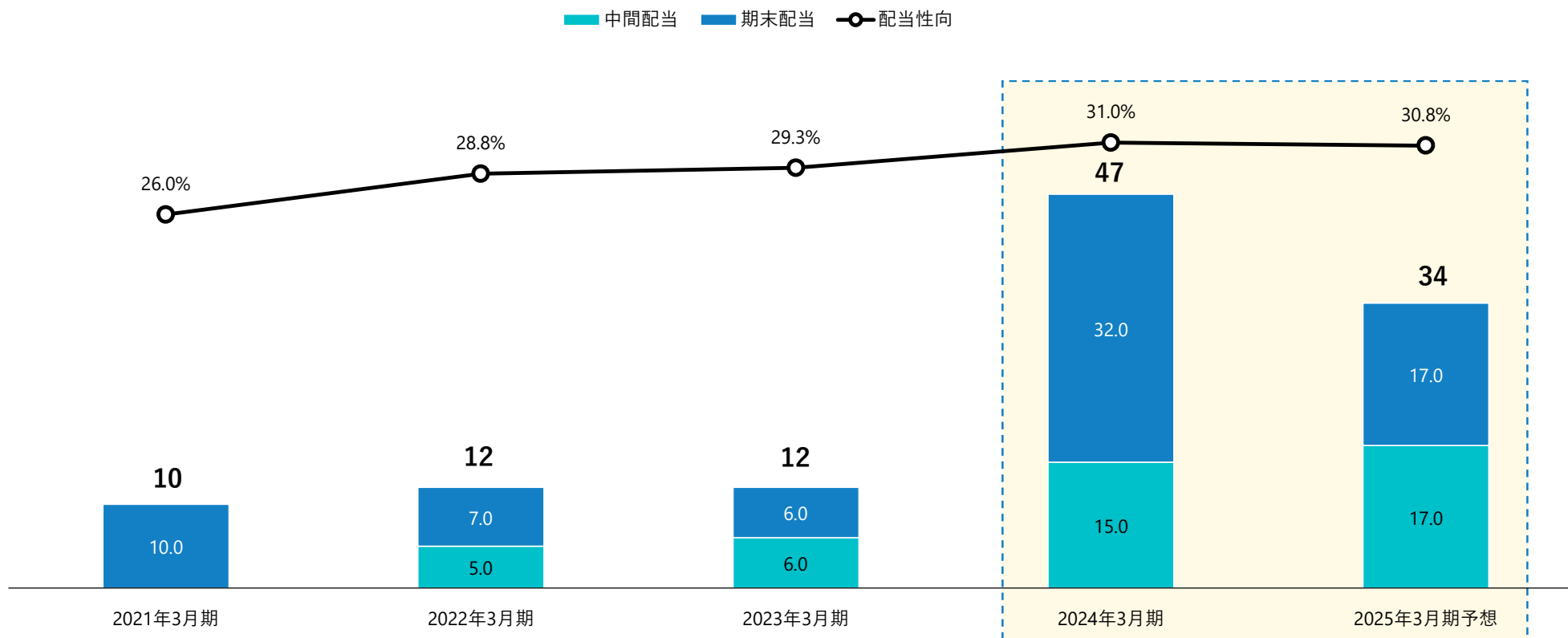
株主還元



■ 連結配当性向30%以上を目標に実施

■ 2024年3月期の配当金は1株当たり47円（配当性向31.0%）、2025年3月期の年間配当予想額は1株当たり34円（予想配当性向30.8%）

1株当たり配当金（円）



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応



成長戦略と資本・財務戦略を両輪で進め、資本収益性の向上を図る

現状分析	2020年3月期	2022年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
ROE	0.7%	2.6%	2.7%	2.4%	8.1%
当期純利益率	0.6%	2.1%	2.0%	1.8%	6.3%
×					
総資産回転率	0.9回	0.8回	0.9回	0.9回	0.9回
×					
財務レバレッジ	1.4倍	1.5倍	1.5倍	1.5倍	1.5倍
株主資本コスト	*6.4 (15年間平均)				
PBR	0.30倍	0.33倍	0.29倍	0.25倍	0.57倍

- 低迷していたROEは、2024年3月期は8.1%と大幅に改善したが、具体的なROEの低下要因は、2018年以降の米州セグメントの業績不振、2020年から新型コロナウイルス感染症、2022年から半導体不足による減産や原材料・エネルギー価格高騰等の影響によるもの。2024年3期の改善は米州地域の業績の回復が主な要因である。
- 一方でPBRは1倍割れが続いている。成長戦略および株主還元方針の方向性を明示していなかったことに要因があると分析している。
- ROEが株主資本コストを継続的に上回るには、利益率向上や資本構成について改善が必要な状況である。

取組み方針

成長戦略

- 新規事業における成長分野への経営資源投入
- 新たな海外事業展開
- 積極的な新規投資と研究開発投資を実施

収益性向上

- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 適正な売価転嫁、不採算事業領域・拠点の再構築

資本・財務戦略

- 安定的な配当及び連結配当性向30%を目標とした株主還元の遂行
- 営業CFおよび資産売却・資金調達を原資とし、投資・株主還元戦略的に配分

企業価値向上のインセンティブ

- 株式報酬制度の導入
- 従業員持株会の拡充



Appendix

TER
POL
MER

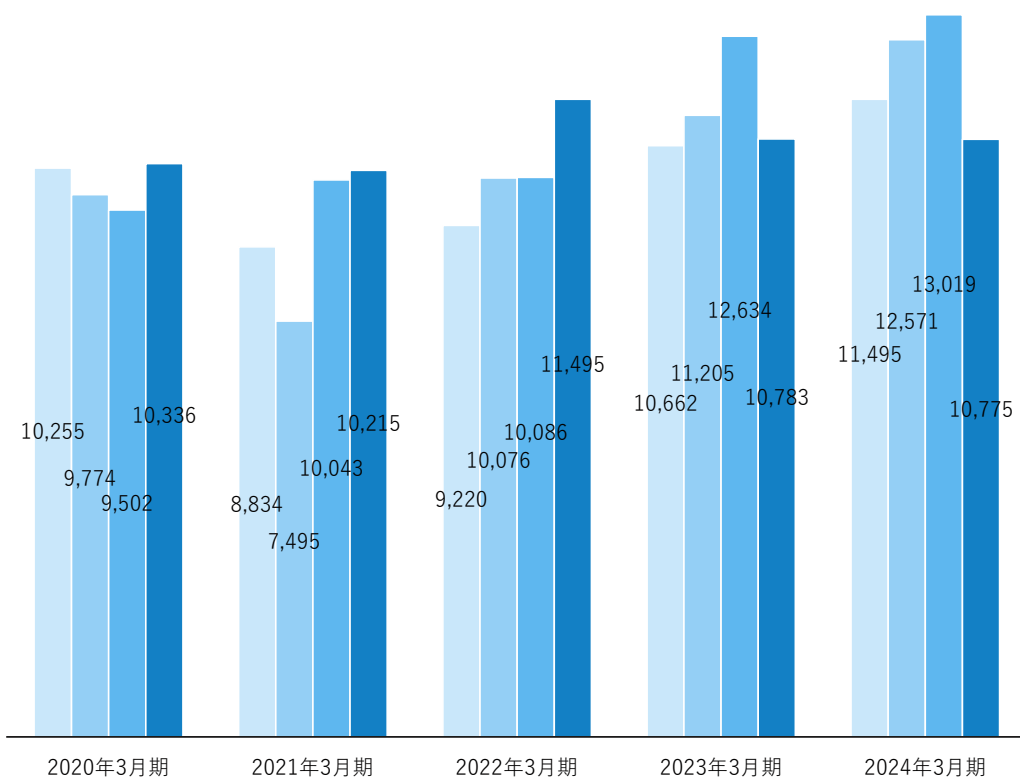
四半期業績推移



■ 2024年3月期の第4四半期は、ゴムホース及び自動車部品の生産減少、人件費・諸経費の増加などにより、売上高・営業利益ともに減少した。

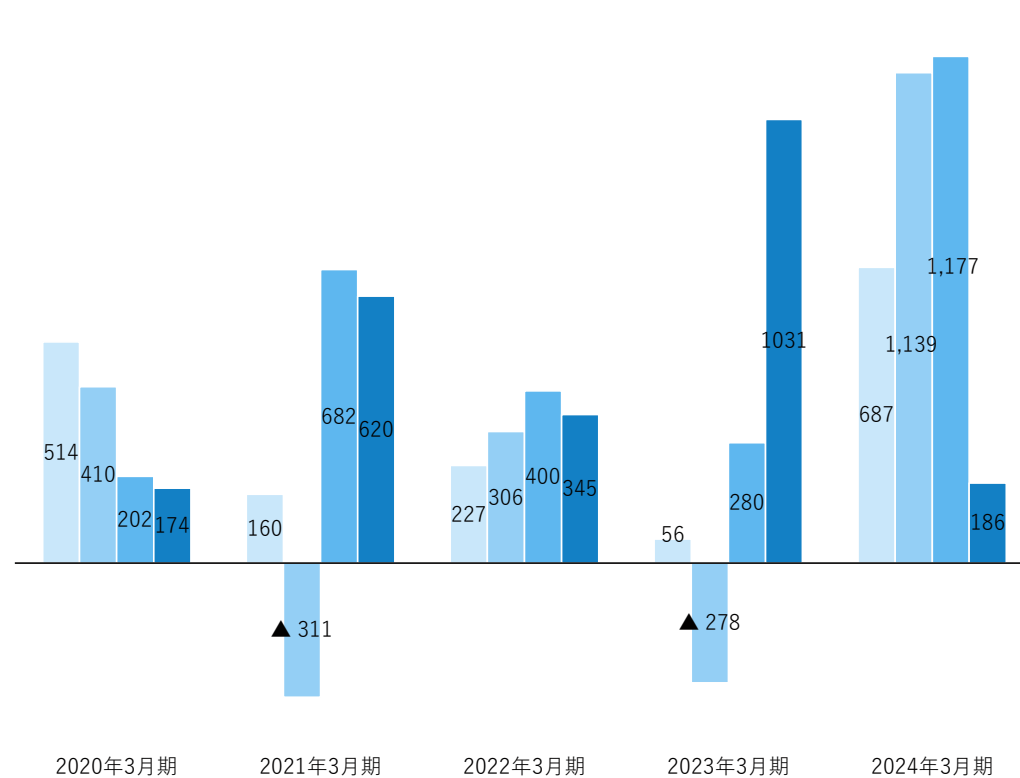
四半期売上高 (百万円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期



四半期営業利益 (百万円)

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期

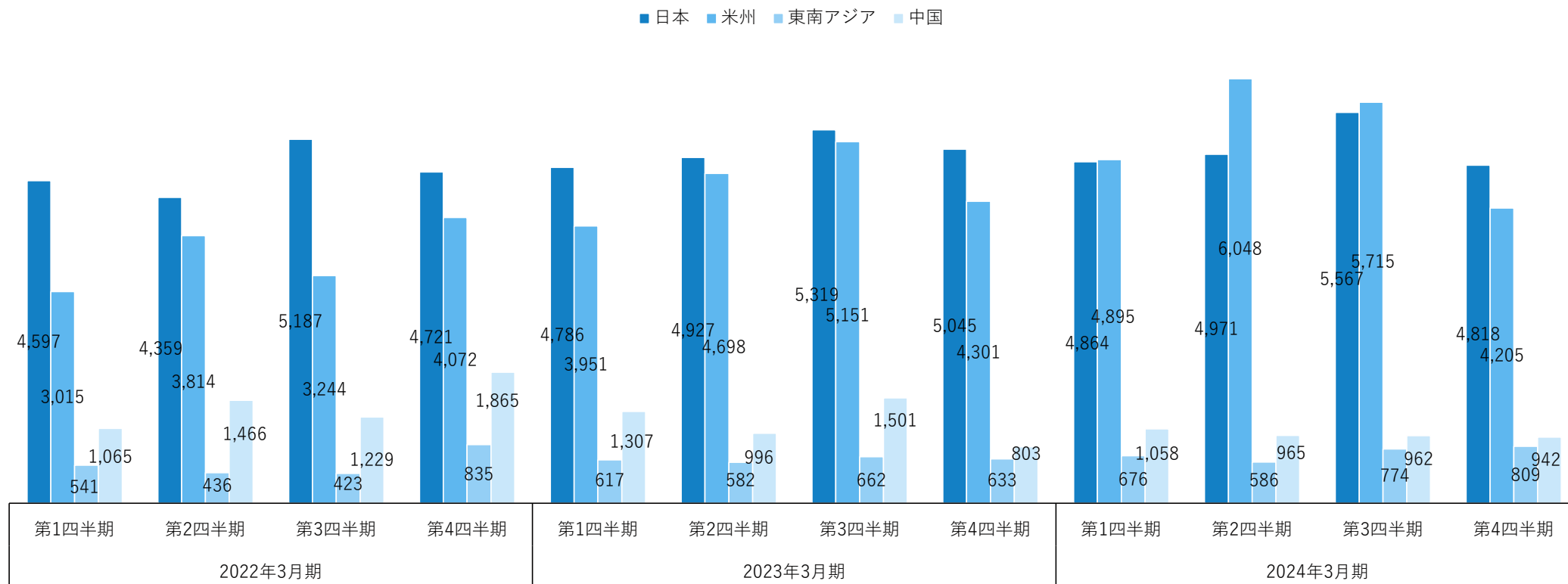


四半期地域別売上高推移



■ 米州の売上高が増加しており、2024年3月期第1四半期に四半期ベースで初めて日本の売上高を上回り、通期でも初めて日本の売上高を上回った。

地域別売上高



本資料取り扱い上の注意点



本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります